

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス こどもオーケストラ			
○保護者評価実施期間	2024年10月28日		～	2024年11月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数)	27
○従業者評価実施期間	2024年10月28日		～	2024年11月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年11月25日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援の様子について療育開示を行い、最低でもマンツーマンの個別療育支援を提供している。	支援中の様子や、普段異なる様子など、都度情報交換を行いつつ、個々の児童が段階を踏めるようなプログラムの提供に努めている。	時に児童の状態や支援の環境調整の一環として、保護者に離席をお願いする場面がある。そういった場合でも、支援後に情報共有するよう努めている。ただ、実際に見ていない場面であることも含め、今後検討が必要であると考えている。
2	様々な関係機関との連携を密にしている。	機関相談支援センターや相談支援事業所、学校園、教育委員会、こども家庭センター、医療機関など、支援に必要な体制の確保に向け、会議や情報交換などへ積極的に参加している。また、関係機関との連携に際しては利用者との合意の上で参加している。	現在、未就学児の通園先との連携については、挨拶と電話等でのやり取りが主となっており、会議という形での実施はできていない。今後、ニーズに即した形での連携が図れると、よりよい支援に繋がるのではないかと考える。
3	相談しやすい環境を整えている。	マンツーマンであることや、家族支援、子育てサポートの充実を図り、日頃の支援や出来事に関しての情報交換や、本人の前では相談し辛い内容の場合、別室での相談の場を設けるよう努めている。	未然に抱えきれなくならないよう努めることが優先される。ただし、様々な事情により、家族が抱えきれないしんどさを感じた際、迅速に、かつ気軽に相談がしやすくなるよう、日頃から家族との関係性構築や、コミュニケーションに努めていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学校園に通う地域の子も達と接する機会の提供に課題がある。	支援自体が、専門的支援を軸にした個別療育支援である。そのため、外出行事等が無く、実施についても現在の支援体制の中では限界があるため、未実施となっている。	当事業所におけるもっとも課題となる点であると理解している。打開策とは言えないが、地域住民や児童が参加するようなイベントがある際には、事業所としてもブースを出展するなど、交流する機会の動機づけとして取り組んでいる。
2	訓練、研修の実施内容の周知への課題がある。	法令で定められた研修や訓練を実施しているが、個別支援である都合上、児童が来所していない時間帯に職員間での実施となっている。SNSやHPを通じた訓練実施時の情報発信はしているが、オンライン上での研修については、様々な制約により、情報発信を差し控えている。	可能な限り見える化するとともに、公式HPや公式SNSなどの周知を実施していくことが必要かもしれない。また、実施した旨などを、見える位置に掲載するなど方法としてはあるかもしれない。
3	保護者会の定期的な開催についての課題がある。	保護者同士で語る場を本年2回実施した。ただ、開催日を通常支援が無い日で行わなければならないことや、職員数の問題などがある。	より定期的に保護者や家族が集える場を事業所として提供していきたいと職員一同考えている。また、参加した保護者からも、開催テーマについて様々なニーズを頂いている。開催人数や、開催方法など見直しを行い、少しでもニーズに応えられるよう努めたい。